

Westcoast Child Care Resource Centre

2772 East Broadway

Vancouver, BC V5M 1Y8

Ph: 604.709.5661 Fax: 604.709.5662

Toll-free: 1.877.262.0022

Website: www.wstcoast.org



子どもの落ち着きと文化的適応の段階
保護者同伴と保護者不在の場合

保護者同伴

1. ・新しい環境に猜疑心を持ち、不安で緊張している。
 - ・ほとんど保護者から離れない。保育士や園児と目を合わせたり、身体の接触を拒否する。
 - ・保護者が持ち込む食べ物しか受け入れない。(それさえ拒否することもある)
 - ・自分の言語でも話をしないことがある。
2. ・はっきりと不安な様子をまだ見せる。(時々泣いたり、親にすがりつく)
 - ・自分から行動することはできないかもしれないが、保護者となら遊ぶ。
 - ・保育士と時々なら目を合わせるが、身体の接触はたやすく受け入れない。自分の言語で保護者と話すことがある。
3. ・自信を持って部屋を動き回ったり、時々、自分で遊ぶことができる。
 - ・保護者がまだその場にいるか、何度も確認する。(遊びに夢中で保護者の存在を気にしない時がでてくる)
 - ・保育士と目を合わせたり、簡単な身体の接触(抱き上げられることはない)を受け入れる。
 - 保護者が勧めれば、園の食べ物を試すことができる。

保護者不在

4. ・強度の不安と恐怖心を示す、つまり、顔色が青くなる、震える、体温低下、嘔吐、吐きそうな様子、手足をばたばたする、痙攣する、行ったり来たり、または硬い姿勢(動けなくなる)など、様々な身体的兆候を示す。
 - ・保護者が帰ると極度に不安になる。(上記を参考)保育士が触ったり、話し

Stages – Settlement and Cultural Adaptation

Page 2

かけるのに気付かない、または拒否する。非常に混乱して、食事や着替えなどの日課をすべて拒否する。

5. ・非常に緊張、混乱、また怒ったり、興奮する(つまり、蹴る、噛む、叩く、叫ぶ、モノを投げる-自分自身や他人、または家具を傷つけようとする、大声で泣く、時々は泣き止む)。
 - ・家から持って来た全ての持ち物にしがみつくと-親から離れるときに最も怒る。
 - ・特定の保育士にだけは触られたり抱かれたりする。
 - ・回りの活動に全く興味を示さないか、反応しない。
 - ・変化を非常に恐れる。

6. ・親が帰るときに不安な様子が継続する(断続的に泣く)。
 - ・抱いてもらっていたり、(一人で泣いているとき)保育士、園児が遊ぶのを見て泣き止むこともある。
 - ・保育士から玩具を受け入れ、短時間なら遊ぶことができる。
 - ・特定の保育士から離れようとせず、自分からは遊べない。
 - ・保育士にトイレや(本人の服なら)着替えを補助させる。
 - ・園の食事を試したり、保護者が持たせた食べ物なら食べたりする。

7. ・落ち着き始め、殆どの時間、本人だけでも園にいることができる。
 - ・一つの場所から動かず、園児が遊ぶのを見ていることが多い。
 - ・保育士が近くにいると、見慣れた少数の玩具で自ら一人遊びを始めることができる。(保育士がそこにいるか確認する)自宅から持ってきたものを教室内で持ってまわることが続くかもしれない。ささいな変化でも反応して不安になる。(泣く、特定の保育士に抱かれない)
 - ・目を合わせるのを避け、園児を押しよける。
 - ・誰かが邪魔をしたり攻撃しても怒らない、反応できない。
 - ・学校の食べ物を大半は食べようとする。ほとんど抵抗なしに、日課の一部を受け入れることができる。

Stages – Settlement and Cultural Adaptation

Page 3

8. ・部屋の中を動き回ることができる。（リラックスして、まわりの環境になじむ自信がでる）
 - ・保育士が勧めると、多くの活動に参加しようとする。
 - ・園児が持ってくる玩具を受け取る。
 - ・園の食べ物は殆ど食べる。日課の大半（着替えやトイレ）を補助があればするようになる。園で用意した衣服を受け入れる。
 - ・大きな変化には対処できない。（保育士が病気、遠足等）

9. ・部屋の中を自由に動き回る。時には走ったり、跳んだりもできる。
 - ・遊びを拡大し、特定の一人、二人の園児と関わるができる。
 - ・ほぼ自立的に（歳としては）日課に参加できる。季節の服を着ようとする。
 - ・ほとんどの保育士や知らない大人、そして新しい状況を自分からアプローチして、うまく受け入れることができる。

10. ・全ての緊張、不安の兆候が消える。とてもリラックスして周囲の園児などの存在を楽しむことができる。（ユーモアをおもしろがったり、感情をよく表現できる）
 - ・集団での遊びに、より長く関わるができる。
 - ・部屋の各場所にある玩具を混ぜて使うことができる。
 - ・次にどの日課がするか予測して、特定の活動を求めることができる。
 - ・大抵はどんな変化にでもうまく対処できる。

トロントのオンタリオ・ウエルカム・ハウス保育園(現在閉鎖)、ジュリー・ドッチより

ここに挙げた発見事項に肯定、一致する研究をされたのは次の方々である；
アッシュワース、フィリップK. ブロック、Jドッチ& ジェーン・マクファーレン、ノーマンR. マクラウド、
メルボルン、ディビッドP. ワイカート、アーロン・ウルフガング、エセル・ヤング